

記者発表資料	
平成 30 年 8 月 31 日	
担当課 (担当)	教育委員会文化財課 佐々木 孝文
電 話	20-336 7 (内線 5135)

## 史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備事業

### 擬宝珠橋復元工事完成セレモニー・渡り初めの開催について

文化庁が認めた城郭の復元橋としては国内最長の、鳥取城の擬宝珠橋がいよいよ完成します。本市の中核市移行記念事業として、また、明治150年記念事業として、下記のとおり「擬宝珠橋」の完成を祝う渡り初めを行います。

なお、連携企画として、9月30日には鳥取城跡・久松公園では「とっとり32万石お城まつり」が開催されます。

#### 記

#### (1) 事業の概要

- (ア) 開催日時 平成 30 年 9 月 30 日 10:30~
- (イ) 会 場 史跡鳥取城跡 擬宝珠橋 (東町・久松公園内)
- (ウ) 招待者 池田百合子氏 (旧藩主池田家当主) 文化庁 関係市町村 ほか
- (エ) 内 容

市長をはじめとする事業関係者のほか、旧藩主池田家の現当主・池田百合子氏、歴史上鳥取城とゆかりの深い人々が橋を渡り、明治12年の取り壊し以来、最初の大型建物の復元となる擬宝珠橋の復元を祝います。

明治150年を記念する丹波山国隊 (鳥取藩が幕末に組織した草莽隊) の時代行列を中心に、旧藩主家のご当主・池田百合子さん、鳥取県をはじめ中核市としての鳥取市と関係の深い市町村、文化財関係者、一般参加の市民の方が渡り初めを行うことで、鳥取城の復活のはじまりを祝います。

この日の11時~16時に限り擬宝珠橋を自由にわたっていただくことができます。

大手登城路の復元整備工事を引き続き行いますので、この日以降は再度閉鎖しますが、工事の進捗に合わせて、不定期に公開していく予定です。

#### (2) 山国隊について

「山国隊」は、明治維新时期に官軍となった鳥取藩の13番隊として戦った農兵隊で、正式名称を「維新勤王山国隊」といいます。丹波国桑田郡山国郷 (現京都市右京区京北町) で結成されました。現在は、その子孫たちが「山国隊軍楽保存会」として山国護国神社・山国神社の例祭・還幸祭の祭礼行列として、行進する姿を伝えています。

今回は、地元・鳥取市民が鉄砲隊として行列に参加し、総勢50名の大行列が行進します。

#### (3) その他

※9月15日まで、擬宝珠橋の工事が展望デッキから見学できます。

※9月1日、8日には「かな削り」の体験も行います。



山国隊軍楽保存会の行列



擬宝珠橋・中ノ御門復元イメージ図

【参考】

史跡鳥取城跡 擬宝珠橋（復元）の概要

全長 約36m 全幅 約6m

材質 クリ・ヒノキ

特徴など 復元橋としては日本最長級の橋である。

水中に残る橋脚遺構を保存するため、コンクリート橋の杭・基礎を利用して水中にステンレス製の水中梁を設ける。

鳥取城の大手の橋として、参勤交代の玄関になっていたほか、藩領の測量の起点ともなっていた。

江戸時代に月見の宴が催されたり、端午の節句には若殿が橋の上に陣取って祭礼を見物するなど、さまざまに活用されていた。

事業費（擬宝珠橋復元整備工事・概算） 約550,000千円（28年度～30年度）